

## 週一回で行うお手入れ

### 抽出ユニット【食器洗浄機は使えません】

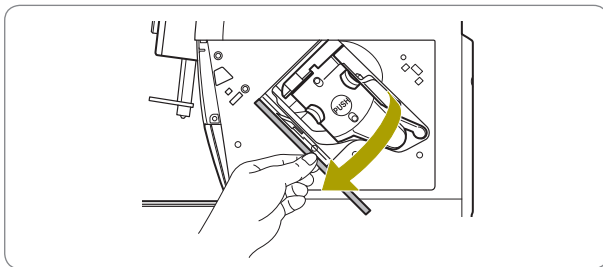
#### 洗浄する

コーヒー粉が詰まると、故障の原因になります。1日の使用が終わったら洗浄を行ってください。食器用洗剤や研磨剤、漂白剤は使用しないでください。フィルターに付いたコーヒーの油分が金属の表面に膜を作り、金属臭を抑えます。

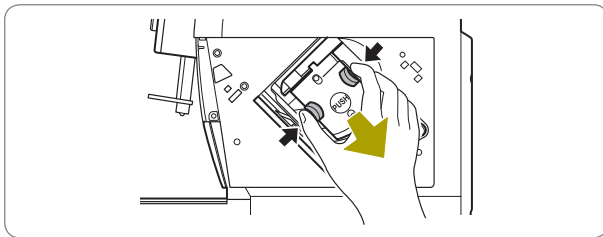
#### お願い

抽出ユニットは、必ず電源ボタンで電源をオフにしてから取り外してください。電源オン時に無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。

- ① (電源) ボタンを押して電源をオフにする (P.12)
- ② 水タンクを取り外す
- ③ 抽出ユニットふたを開ける

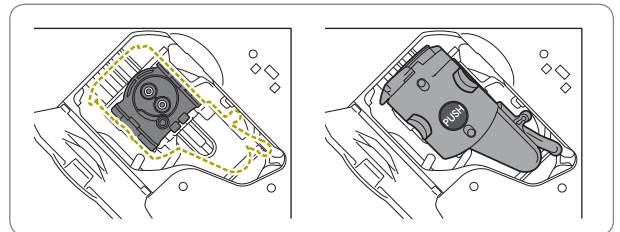


- ④ 抽出ユニットの赤いボタンをしっかりとつまみ、そのまま手前に引き出す



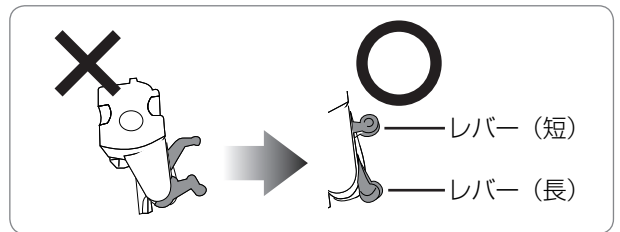
- ⑤ 抽出ユニット上部を流水で洗う  
※ フィルター部分、コーヒーカスを払い落とすレバーの周りなどに残ったコーヒー粉を洗い流します。

- ⑥ 抽出ユニットを本体受け部にはめ込み、PUSHの位置をカチッという音がするまで指で強く押す



※ はめ込んだ後に、赤いボタンが凹んだままになっている場合は、抽出ユニットが正しく取り付けられていません。一旦、抽出ユニットを取り出し、しっかりと取り付け直してください。

※ 差し込みにくい場合は、抽出ユニットのレバーを下図の位置にしてから、再度差し込んでください。



- ⑦ 抽出ユニットふたを閉じる
- ⑧ 水タンクを本体にセットする

#### 抽出ユニットの伸縮動作が固くなってきたら

銀色のフィルター部分を指で押し込んだときの伸縮動作が固くなってきたら、抽出ユニット用グリースを塗布してください。そのまま使用を続けると故障の原因となります。

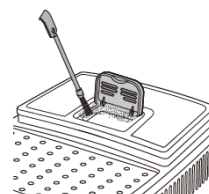
※ 抽出ユニット用グリースは当社または当社オンラインショップへお求めください。(P.37、38)

# 必要なときに行うお手入れ (ECAM22110SBHN)

## パウダー投入口

### 清掃する

定期的にパウダー投入口を確認し、必要に応じて付属のクリーニングブラシで取り除きます。



## 豆ホッパー内部

### 拭く

豆の油分が内壁面に付着していたり、長期間使用していなかった場合は、乾いたふきんで拭き取ってください。

濡れふきんは使用しないでください。豆ホッパー内が濡れるとコーヒー豆の劣化や故障の原因になります。

## 豆ホッパーふた

### 水洗い・乾燥

汚れが気になる場合は、水洗いします。

コーヒー豆の劣化を防ぐため、必ず乾燥させてから本体に取り付けてください。